

日本の一大転換期の「舵取り」これでいいのか？

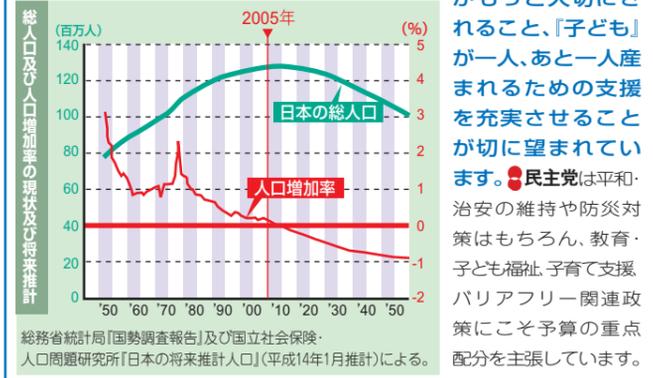
戦後60年が経過した今、日本は間違いなく「一大転換期」を迎えています。国も地方も、官も民も、政治も経済も、従来の延長線上にない「配慮」「戦略」「行動」が求められています。

論点1 人口減少をどう捉えるか？

人口統計・推計によれば、2006年から日本の人口は「減少」に転じます。有史以来「増加」の一途を辿ってきた、国の基礎ともなる「人口」が、今後、「減少する」という推計をまず冷静に認識し、あらゆる長期的な政策決定過程に組み入れるべきです。

特に、道路や空港、整備新幹線などの社会インフラ整備、年金をはじめとする社会保障制度などは、旧来の楽観的な人口の増加ではなく、「人口減少」を所与の条件とした計画の練り直しが急務です。

その上で、人口減少を如何に止めるかとの観点から、**今ある『生命』がもっと大切にされること、「子ども」が一人、あと一人産まれるための支援を充実させることが切に望まれています。**民主党は平和・治安の維持や防災対策はもちろん、教育・子ども福祉、子育て支援、バリアフリー関連政策にこそ予算の重点配分を主張しています。



論点2 地球環境悪化を如何に食い止めるか？

台風・ハリケーン、猛暑・砂漠化、豪雨・暴風など、頻発する自然災害は地球環境の急速な悪化が原因だとも指摘されています。今こそ、その悪化を食い止めること、環境を守りながら経済活動を営むことに人類の叡智・技術を結集しなければ取り返しのつかないことになってしまいます。

民主党は、**国も地方自治体もあらゆる政策の力点を「環境配慮型」に切り替え、官民一体の国民運動を巻き起こすこと、同時に国際的な合意の取り付けにもっと積極的に尽力することを求めています。**

「びわ湖」を守ってきた住民運動や滋賀県発の「菜の花プロジェクト」など貴重な経験から学ぶべきことは多くあります。



こんな風景がなくなってしまう前に...

だから！政権交代こそ真の改革

この「一大転換期」には、過去の先例やしからみに囚われない大胆な改革が必要です。行政や官僚、業界との関係も透明で緊張感のあるものにしていかなければなりません。

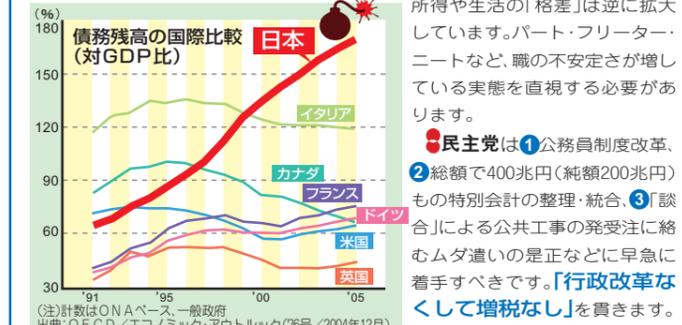
政権交代こそ真の改革！政権交代によって民(たみ)が主役の元気な日本を創ります！

ホームページにて活動日誌毎日更新中！
三日月大造・元気サイト
元気一番
www.genki1.com

論点3 どうやって財政再建するか？

国と地方合わせた債務は774兆円(平成17年度末)、特殊法人の債務を含めた**日本の借金は1,000兆円**を超えています。必要な行政サービスを行いながらも、この天文数字的な債務をどうやって返済するのか？財政再建への道筋をもっと明確に示すべきです。

しかし、財政再建の手段を安易に「増税」に求めるべきではありません。景気は回復しつつあるとは言え、地方や中小企業の経営はまだまだ厳しく、所得や生活の「格差」は逆に拡大しています。パート・フリーター・ニートなど、職の不安定さが増している実態を直視する必要があります。



日本の財政を家計に例えたら...

国	17年度財政状況	1ヶ月分の家計に例えた場合
税金+税外収入(A)	47.8兆円	1世帯月収(C) (ボーナス込み) 約40万円
国債費(B)	18.4兆円	ローン元利払(D) 約15万円
(A)-(B)	29.4兆円	(C)-(D) 約25万円
一般歳出	47.3兆円	家計費 約39万円
地方交付税など	16.1兆円	田舎への仕送り 約13万円
公債金	34.4兆円	不足分=借金 約27万円
公債残高	538兆円程度	ローン残高 約5,300万円

(家計の前提)一世帯月収は、平成16年度厚生年金及び国民年金の財政再計算におけるモデルケースの月平均手取り収入などを参考に算出。他の項目は一世帯月収の国の税収・税外収入に対する比率により算出した。

論点4 政治の信頼を回復させねばならない！

将来が描きにくい時代、多様なことが求められる時代の「舵取り」の基礎は、何より「政治に対する信頼」です。政治の不祥事の頻発及び「茶番劇」「ワイドショー」のような感覚で捉え伝えられる昨今の事態は憂慮すべきことです。まじめな政治を取り戻すべきです。

国での日歯連や酒政連の問題、官製談合問題、草津市での収賄事件などは、まさに「政官業の癒着構造」の表れです。政治とカネが結びつき、「カネで政策を買う」「カネで政治を動かす」事態の是正と解消こそ先決すべき最重要課題です。先の特別国会で、**民主党は「献金の総額規制・迂回献金の禁止・外部監査」の義務付けを盛り込んだ政治資金規正法改正案、談合防止のための法改正案を提出しました。**

民主党は引き続き政治浄化に果敢に取り組みます。



野洲駅北口にて訴える

特別国会報告①「政治とカネ」の問題について

10/14(金) 政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会

- ×日歯連から自民党旧橋本派への**1億円のヤミ献金**
- ×自民党の政治資金団体を經由させた業界からの「**ひも付き献金**」「**迂回献金**」疑惑
- ×自民党旧橋本派の**15億円の使途不明繰越金**

続々と噴出する「政治とカネ」の問題。業界と自民党が絡み、「政策をカネで買う」「政治をカネで動かす」ことが横行し、政治に対する信頼を著しく損なってしまった。

対策を講ずるべく、「政治資金規正法」の改正法案を与党と民主党それぞれが提出。その審議に**三日月大造**衆議院議員が民主党を代表して質問に立ち、説明責任を果たさず、自らに甘い規制しか課さない与党の姿勢を厳しく追及した。(主なやりとりは以下のとおり)



まず、真相解明のための証人喚問を！

三日月...一連の自民党内の「政治とカネ」を巡る不祥事を反省し、対策を講じるための政治資金規正法の改正が急務。そのためには**まず問題の本質を明らかにするための証人喚問が不可欠**だ。国民にまずきちんと説明をすることが先決だと考えるが...

与党案提出者...司法の場で刑事裁判中。推移と結果を見守りたい。

三日月...司法は司法。国会は国会。国会の自浄機能を果たすためにも、国会で起こったことは、国会できちんと説明することがまず必要だ。

与党案提出者...昨年11月30日の「政治倫理審査会」で橋本元総理が出席され説明された...一定の説明責任は果たしたと考える。

三日月...「**非公開な審査会では不十分だ**」「**覚えていない**」「**どう使ったかは知らない**」は無責任極まりない！

特別国会報告②「官製談合」の問題について

10/25(金) 国土交通委員会(一般質疑)

国土省と旧日本道路公団が発注した鋼鉄製橋梁工事を巡る談合事件についての質疑。北側国交大臣と10月1日に発足した高速道路新会社3社の経営幹部に対し、実態や対策などについて厳しく質した。「**民営化**」でウヤムヤ...は決して許されない！(主なやりとり以下のとおり)

「官製談合」は典型的な政官業癒着構造で税金のムダづかいだ！

三日月...一連の事件で**告発企業は延べ32社、逮捕者は15名という異例の深刻な事件**。(国発注の工事では初めての刑事告発！)談合関与企業から自民党の政治家などに平成15年:6,153万円、平成16年:9,873万円もの献金もあり、国土省や旧公団からは「**工事情報の漏洩**」と「**天下り**」が繰り返されてきた。まさに「**政官業癒着の構造**」の表れであり、許されない「**税金のムダづかい**」だ。

北側大臣...誠に遺憾だ。業界ぐるみだと言われても仕方がない。言語道断で許されない。再発防止に向けてしっかりと取り組む。

三日月...責任者であった近藤元総裁の説明と決意をお伺いしようとお出願をお願いしたが、「挨拶回り」でお忙しいと断られた。国会軽視だ。また**道路公団民営化で誕生した新会社に談合関与企業から役員になられている方がいる。問題だ**。

北側大臣...人格・識見とも素晴らしい方々だ。

三日月...**属人の問題ではない。社会道義上の問題だ**。



政治では粉飾決算が許されるのか？

三日月...自民党旧橋本派(平成研究会)の2004年の政治資金収支報告書で明らかになった「**15億円を超える使途不明繰越金**」は**看過できない!**「**担当者が逮捕され、資料が押収されたから分からない...**」「**新たな事実が判明すれば修正します**」という宣誓書を添付するだけで粉飾決算が許されるのか？これは明らかな「**虚偽記載**」。「**刑事事件**」として**厳格な捜査が行われるべきだ!**

政府参考人...捜査に関わるので答弁を差し控える...

今こそ「透明化」をしっかり担保すべきだ！

三日月...与党案では「迂回献金」が禁止されず、「外部監査」も義務付けられていない。自らに甘く全く不十分だ。

与党案提出者...「迂回献金」は定義も立証も難しく、法的規制は不可能。「外部監査」については政治活動の自由の観点から必要ない。党内規で定めている。

三日月...今回の法改正が必要となった経緯を認識せず、反省も見られない。寄附の量的総額規制に加えて、「迂回献金」の禁止、「外部監査」の義務付けを明記した民主党案を可決させるべきだ。



改善へのプロセスは「透明」「公開」が最低限の条件だ！

三日月...公正取引委員会から旧公団に対して出された「**改善措置要求**」について。これまでの事例同様「**公開**」されるべきだ。

3会社...プライバシーの問題もある。「**静かな環境**」で調査したい...

三日月...それは違う。**個人の名前は伏せた上で、内容については公開されるべきだ**。「**静かな環境で調査**」とはふざけている！問題認識が甘過ぎる！

3会社...協議し、早急に説明(公開)する。

徹底調査は不可欠。「民営化」で問題は解決しない！

三日月...3社合同の談合実態の内部調査の「**責任者**」と「**期限**」は？

3会社...あくまで「**共同で**」連携しながら行う。期限は約束できない。

三日月...そんな無責任な調査があるか！「**コンプライアンス(法令順守)**」について、少なくとも新会社の就業規則には明記すべきだと考えるが...

3会社...専門委員会で検討し、別途、コンプライアンス規定を策定している。



地域で、国会で、元気に活動中！



▲出発式(8月30日)



▲川端達夫議員、応援に(9月1日)



▲岡田前代表、応援に(9月8日)



▲最後の街頭演説(9月10日)



▲日韓議員連盟で韓国訪問



▲イラク大使訪問



▲歴史ハイクに参加(草津市)

▲守山市環境フェア
▲金勝ふれあい広場(栗東)